

リュツォ・ホルム湾の定着氷の状況について

国立極地研究所 南極観測センター

第61次越冬隊および国立極地研究所は、越冬期間中の野外活動や第62次隊の夏期行動計画の参考とするため、衛星画像や昭和基地からの目視、気象・潮汐観測データ等にもとづいて海氷状況を監視している。

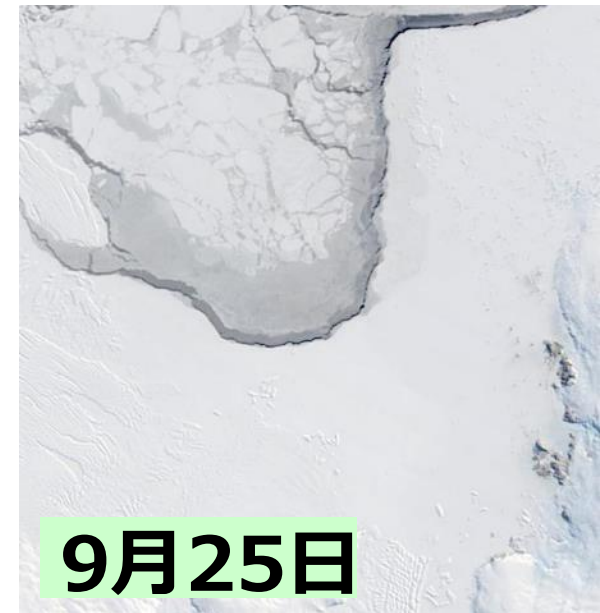
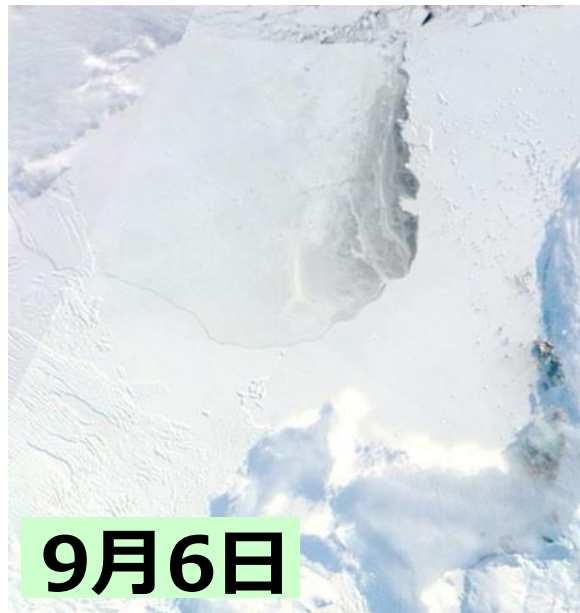
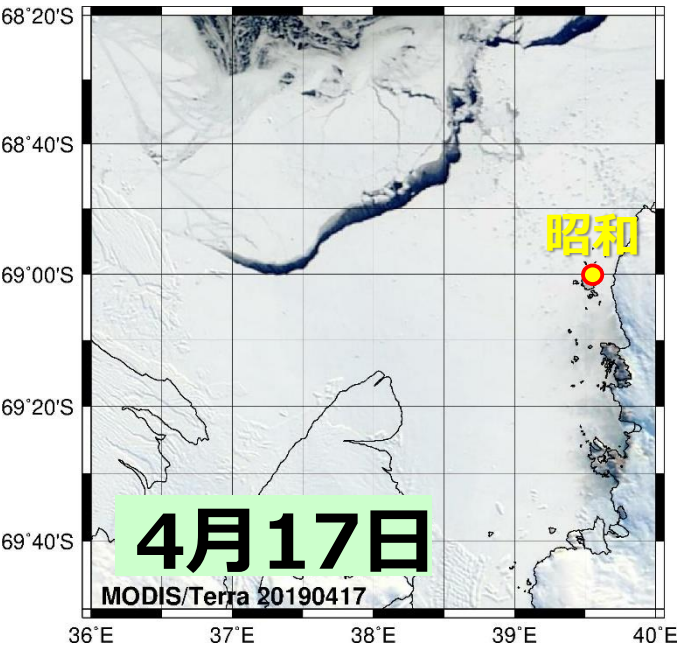
昨シーズン2019年の湾内定着氷変化の特徴

- 4月以降、湾中央の割込みは領域をやや広げつつ、ブリザードによる氷盤吹き流しと静穏時の一時凍結を繰り返し、安定しなかった。
- しらせは弁天島付近まで、一年氷域を航行した。
- 春～夏季、昭和基地周辺の多年氷域の融解が進んだ。

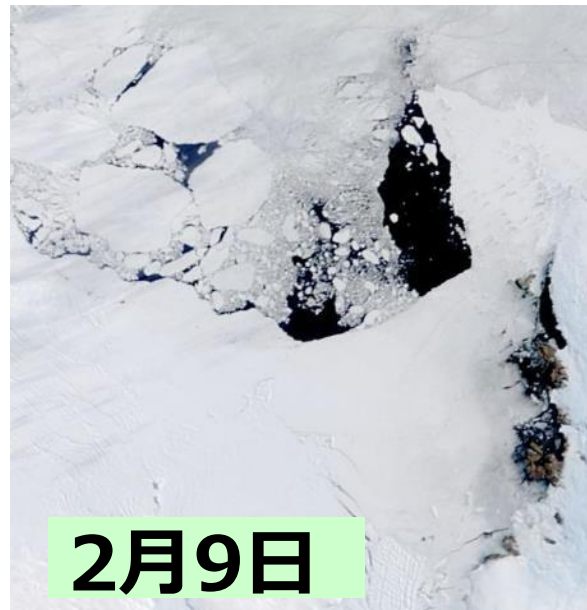
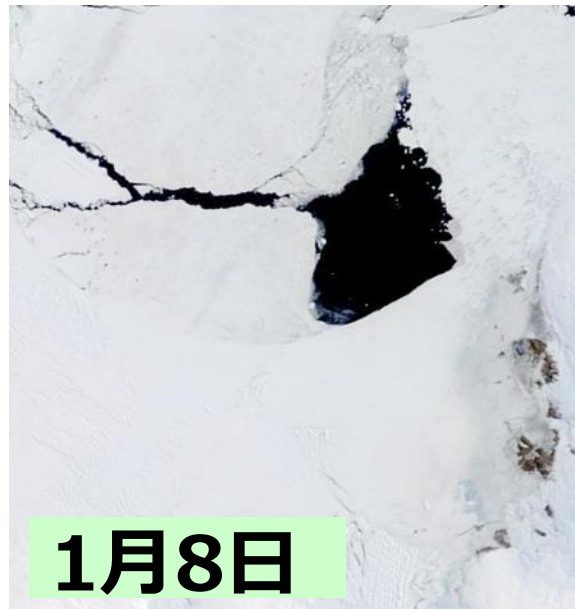
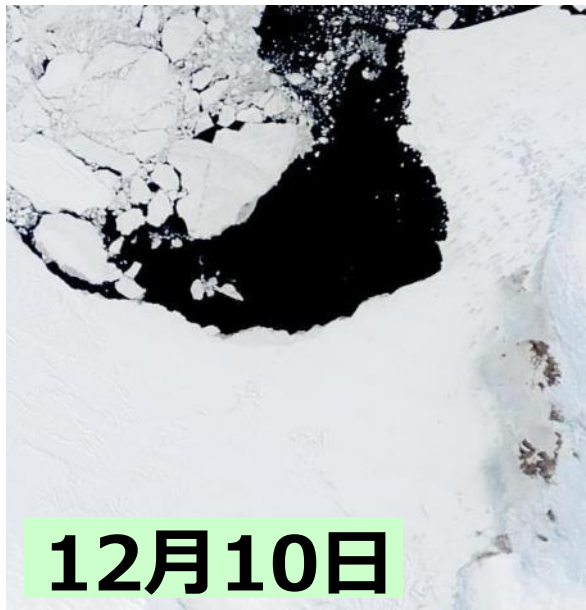
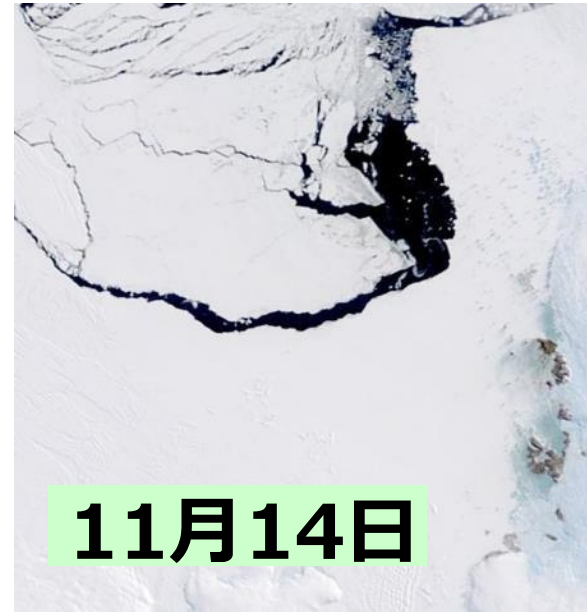
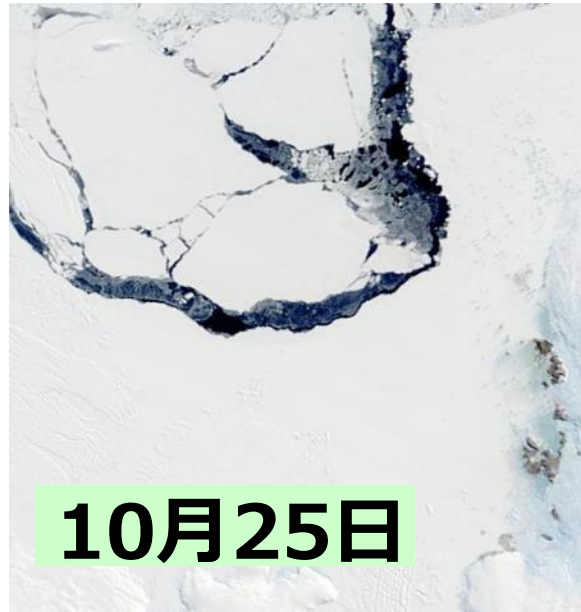
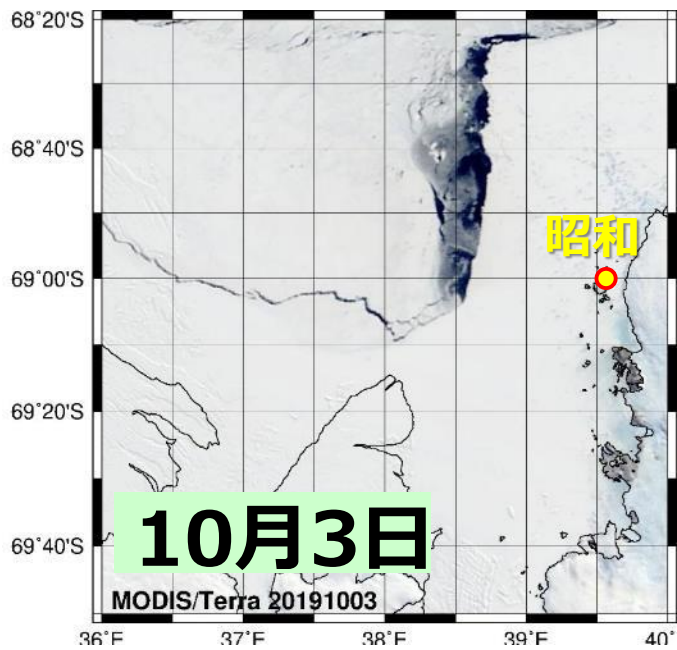
2020年1月以降の氷状の特徴

- 湾中央で進行していた割込みは3月以降安定していなかったが、5月下旬時点で凍結している可能性がある。
- オングル海峡で3月まで広がっていた開水面領域は、4月から凍結した。

昨年2019年の湾内定着氷の変化（可視画像）



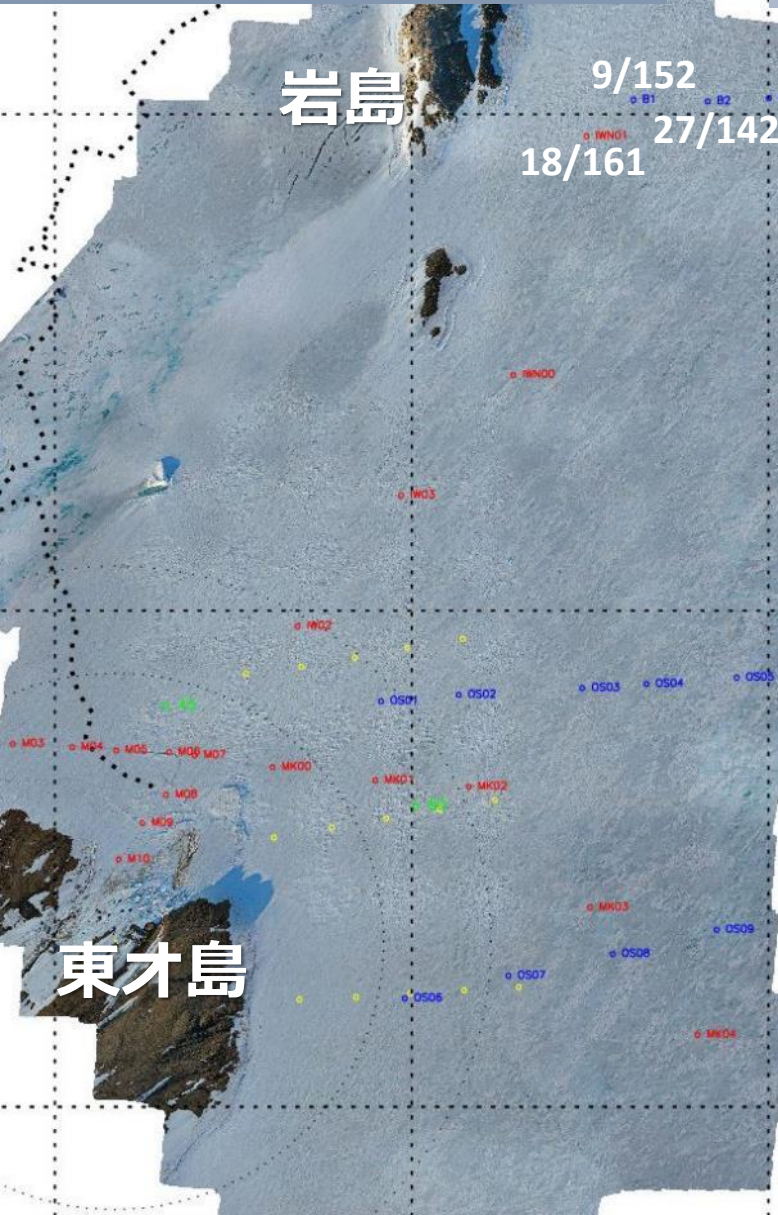
2019-20年の湾内定着氷の変化（可視画像）



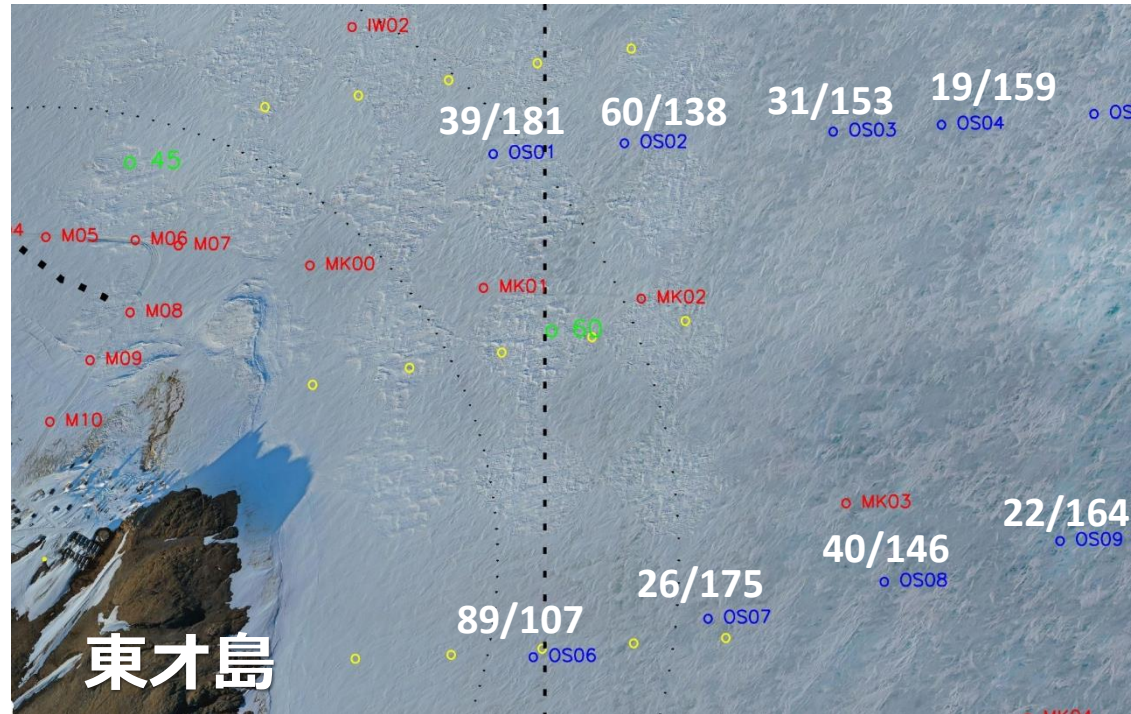
昨シーズン 61次しらせ停留点付近の氷状

2019年12月20-21日計測

図中の計測地点の値：積雪深/氷厚(cm)

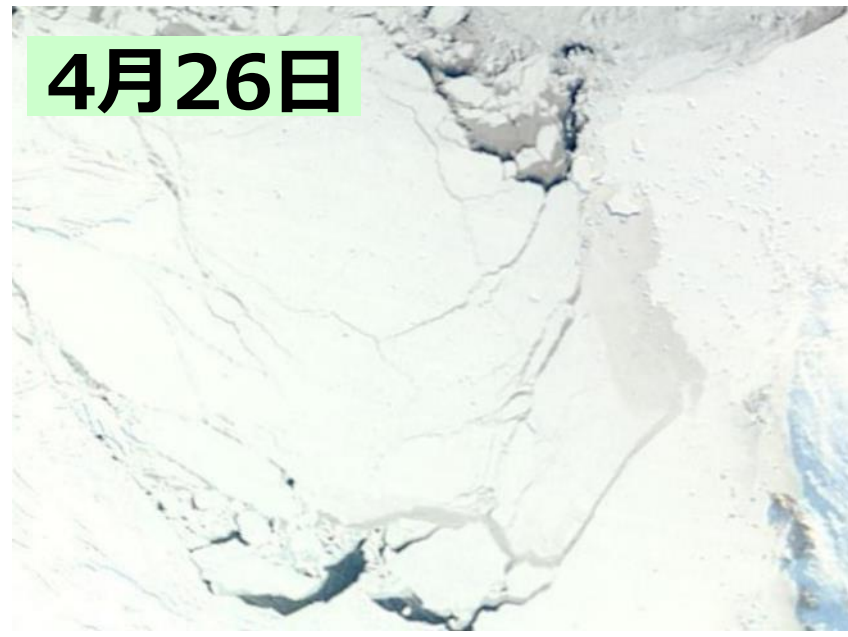
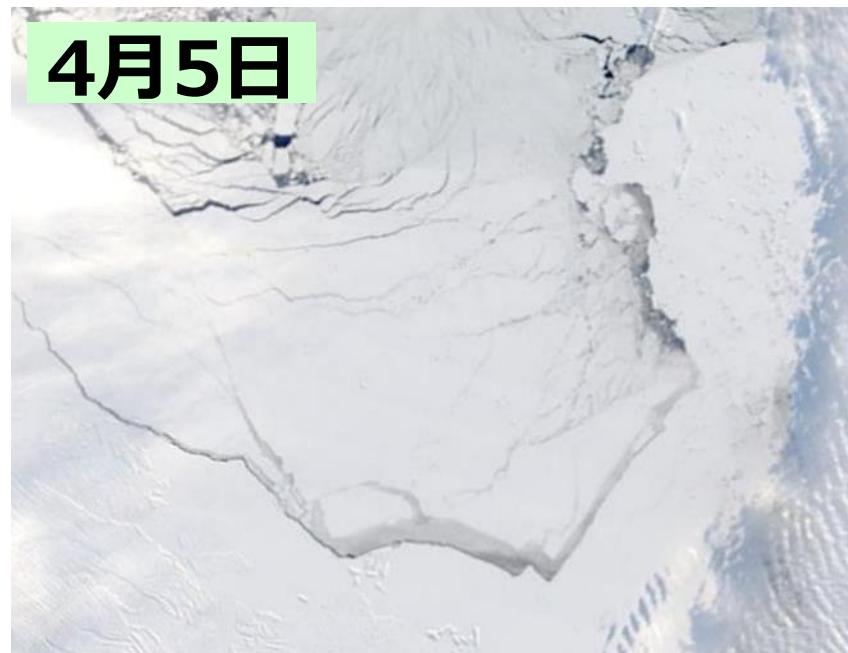
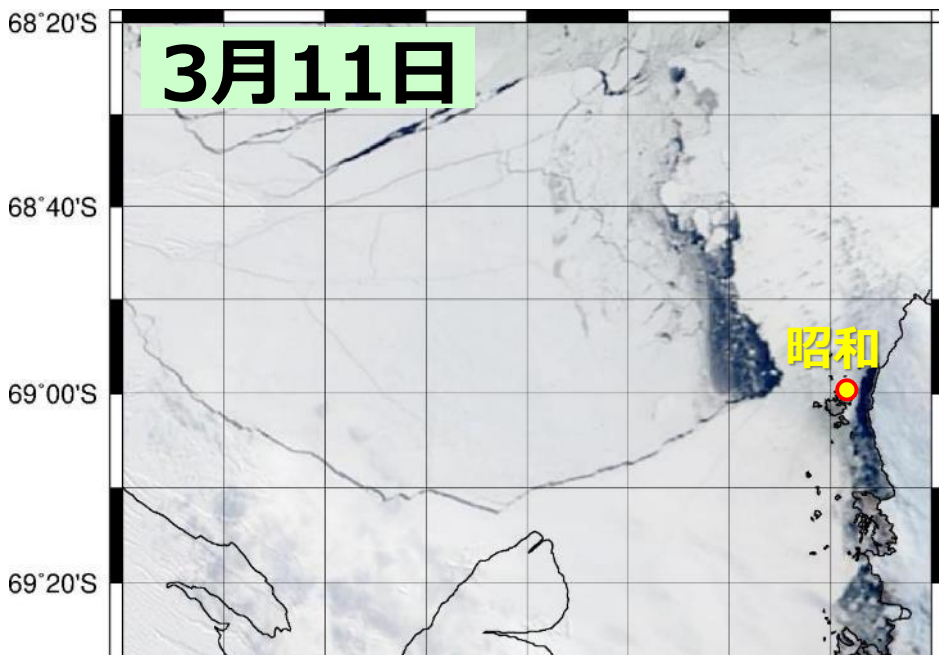


2019年12月5日計測

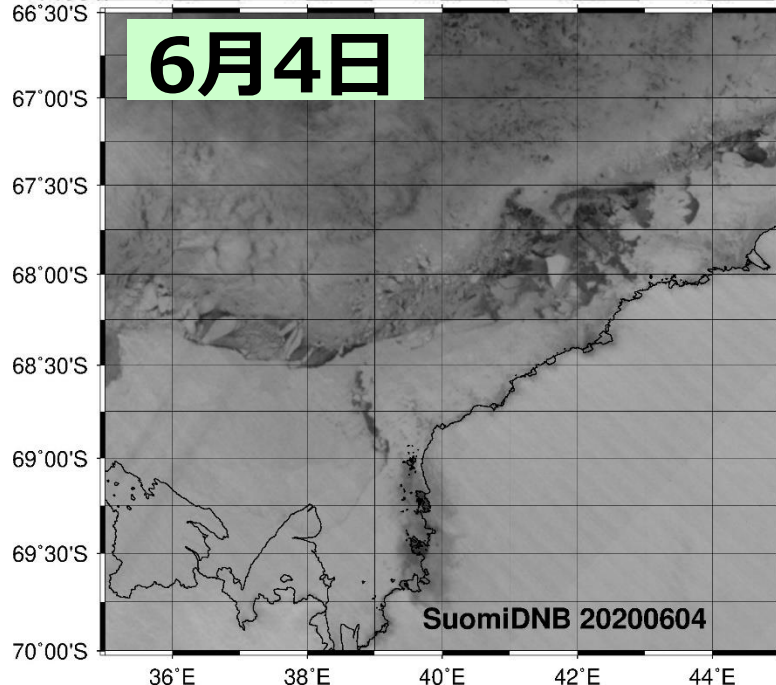
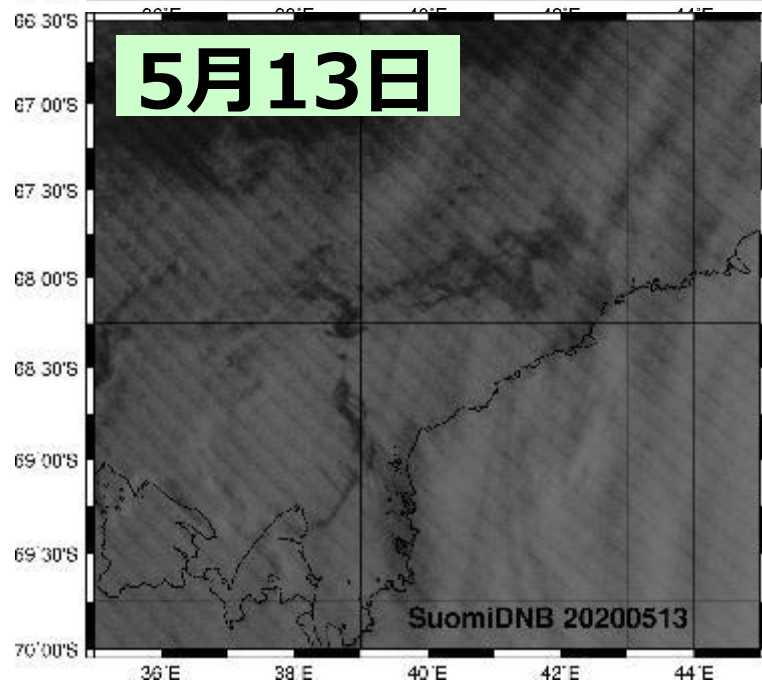
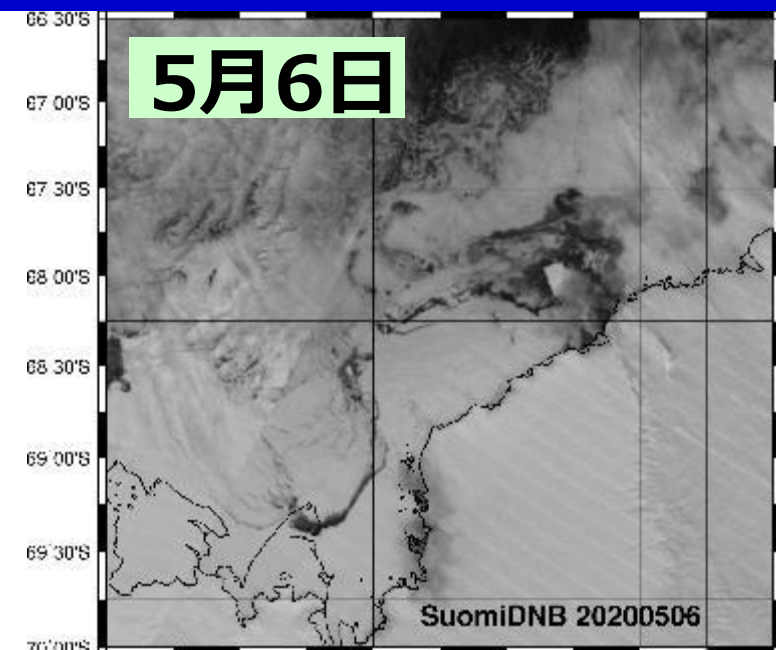
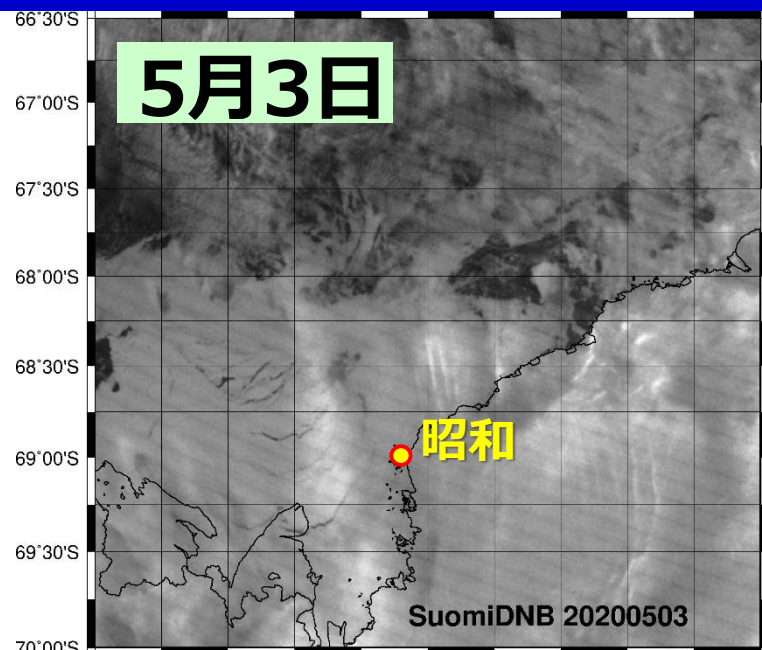


(図・画像の作成、氷状調査は60次越冬隊による)

2020年3-4月の湾内定着氷の変化（可視画像）



2020年5-6月の湾内定着氷の変化（可視画像）



オングル海峡の開水面（2020年3月29日）

61次越冬隊撮影



オングル海峡

北の浦

（基地から北東方面）



ラングホブデ

オングル海峡

（基地から南東方面）

2020年3~4月のオングル海峡の凍結



◆ 弁天島

昭和

大陸

オングル海峡

基地の東, 才海峡西部の状況

3/30 : 開水面

4/上旬 : 凍結開始

4/25 : 氷厚約30cm

5/下旬 : 氷厚60cm以上

2020年4月2日